

共創の時代へ

開成町長 露木 順一

明けましておめでとございませう

平成21年、2009年の年明け、いかがお過ごしでしょうか。

試練の年となりそうです。世界経済の混乱のため、企業からの税収が極端に悪化し、町財政を直撃することが確実だからです。新たな企業誘致により将来の財政基盤を整えたと思った矢先の混乱なので衝撃は大きいのですが、事実は事実として受け止めなくてはなりません。日本全体が危機的な状況ですので、泣き言は言っていられません。何と少しでも活路を見つけ乗り切ります。

明るい話題もあります。新しい小学校は、平成22年4月に開校予定です。昨年暮れに施工業者も決定しました。いよいよ着工です。少子化が叫ばれているこの時代、子どもたちの数が増え、新しい小学校を開校するのは奇跡と言えるのではないのでしょうか。先輩の皆さまがたが将来を考えて計画的なまちづくりを重ねてくださったおかげです。小学校の建設は、町民の皆さまにとって希望の灯でもあります。最優先に取り組みます。深刻な不況下の極めて厳しい財政事情の中で小学校の建設を進めますので、当面、先送りせざるを得ない事業が、どうしても出てきます。この辺りは、緊急事態ということは何とぞご理解いただきたいと念じます。

ピンチはチャンスでもあります。消防やごみの処理など広域化した方が効率的な分野は、広域化を推進します。一方、自治会を基本とした開成町らしいまちづ

くりを同時に伸ばしていきます。町民の皆さまと共に未来を創り出す「共創」の発想が、たいせつだと思います。互いが共通理解を持ちながら、双方の責任を果たしつつ町を創っていきましょう。「共創」の時代の幕を開けましょう。

今年、国の政治は、混乱するかもしれません。住民の暮らしに密接な地方自治体もいっしょに揺らぐことがあってはなりません。私は、地方がもっと強くなる地方の時代を創るべきだと思います。政府の地方分権改革推進委員会の委員としても全力を挙げます。

それでは、今年一年、勇気を持って前向きに進んで行きましょう。町民の皆さまのご協力を切にお願いいたします。



▲開成南小学校完成予想図



▲開成南小学校建設予定地（関連記事P5）

